

**▲ 注意**

ピストンが戻されたまま走行しないこと。ピストンの戻りが大きいと、最初にペダルを踏んだときにブレーキが効かないことがある。

12. マスタシリンダリザーバタンクのブレーキフルード量を確認し、必要に応じてブレーキフルードのエア抜きを行う。
13. ブレーキ キャリパ取付け後、ブレーキ ホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないか点検する。



**P07A型 SOHCターボ エンジン搭載車**

**交換**

**アドバイス**

ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。

1. キャリパ ピン六角部(A)をレンチで保持して下側の8mmフランジ ボルト(B)を外し、キャリパ ボディ(C)を持上げる。
2. キャリパ ボディを針金などで固定する。

**アドバイス**

- ブレーキ ホースでキャリパを吊らないこと。
- キャリパを吊るす場合、他の部品に損傷を与えないように充分注意すること。
- ブレーキ ホースを無理にねじらないこと。



3. キャリパ ブラケットからパッド(A)とシム(B)を取外す。



4. リテーナ(A)を取外し、清掃する。
5. キャリパ ブラケット(B)を清掃する。
6. リテーナのブラケット接触面(C)にモリコートM77グリースまたはダイカルフ528Dグリースを塗布し、リテーナを取付ける。



**アドバイス**

- 装着時、リテーナからグリースがはみ出さないようにすること。
- ブレーキ ディスクの摺動面に油脂類を付着させないこと。

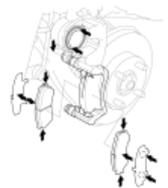
7. キャリパ ボディ(A)を清掃し、市販工具(ブレーキ キャリパ レンチ)を使用してピストンを静かに押込む。  
**知識** マスタ シリンダのリザーバタンクからフルードがあふれていないか確認する。



8. 次の矢印で示した箇所にモリコートM77グリースまたはダイカルフ528Dグリースを塗布する。
  - インナ シムとピストン端面接触部(A)
  - アウタ シムとキャリパ ボディ接触部(B)
  - シムとパッド合わせ面(C)
  - パッドとリテーナ接触部(D)

**アドバイス**

- シム装着時、パッドとシムからグリースがはみ出さないようにすること。
- ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。



9. シムを取付けたパッドをキャリパ ブラケットに取付ける。  
**知識** インナ パッドのウェア インジケータ(E)はパッドの上方にある。

10. キャリパ ボディ(A)を元の位置に戻し、キャリパ ピン六角部(B)をレンチで保持して8mmフランジ ボルトを締付ける。
11. ブレーキ ペダルを数回踏んで、ピストンを押出す。

**▲ 注意**

ピストンが戻されたまま走行しないこと。ピストンの戻りが大きいと、最初にペダルを踏んだときにブレーキが効かないことがある。

12. マスタシリンダリザーバタンクのブレーキフルード量を確認し、必要に応じてブレーキフルードのエア抜きを行う。
13. ブレーキ キャリパ取付け後、ブレーキ ホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないか点検する。

